

被爆者の声 世界へ届け

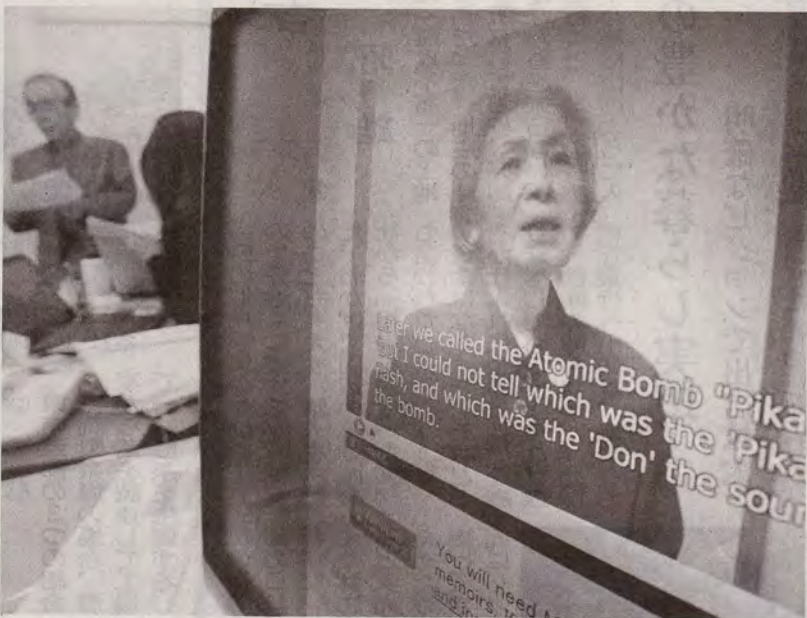
広島、長崎の被爆者が自らの体験を語るビデオを多言語に翻訳して公開する取り組みが、京都外国語大を拠点に進んでいる。「過酷な経験や切実な思いを伝えたい」。学生らが心を込めて翻訳した作品はウェブサイト上などに掲載され、今後も作品数を増やす予定だという。指導に当たる研究員らは「言葉の壁を越えて被爆者の声を世界に届ける機会にしたい」と意気込んでいる。

京都外大など 多言語翻訳、動画で配信

「過酷な経験伝えたい」

「あの瞬間、ものすごい爆風で、何があったのか分からないまま、私は倒れ込みました」。ビデオ

公開された被爆者証言の翻訳作品(京都市右京区の京都外国語大)



オに映る東京都板橋区の天野文子さん(84)が、広島で被爆した当時の体験を切々と語る。画面には英語の字幕が次々と表示された。

ビデオは国立広島原爆死没者追悼平和祈念館(広島市)が所蔵。天野さんの証言は館内で英語・中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語の5カ国語のうち、いずれかの字幕付きで視聴できる。

翻訳に取り組んだのは留学生、翻訳家ら約120人で行く京都市右京区の市民団体「被爆者証言の世界化ネットワーク」(NETIGTAS)。

2014年1月、京都外

国語大や筑波大、横浜国立大などの教員の呼び掛けで、京都外大内に設立された。同祈念館と提携、これまでに天野さんを含めた7人の証言を翻訳し、外国語別に計26本の作品にまとめている。

このうちの1人の証言は、横浜国立大の14年秋学期に、NETIGTAS会員の高橋弘司准教授らの指導の下、外国人留学生4人を含む9人の学生が翻訳に取り組んだ。

9人の学生は核問題に関する講義などを受けた後、証言の英訳に挑戦。翻訳後、同大学4年の阿部紗也子さん(21)は「被爆者のありのままの思いを英語にしようと努めるうち、気持ちに寄り添えることができるようになった」と感想を述べている。

戦後70年

26作品は今年1月から順次、同祈念館で公開し

詐欺に注意。抽せん結果が事前に分かることはありません。

第4121回
数字選択式全国自治
宝くじナンバーズ
抽せん結果 (13日)
【ナンバーズ3】
▽ストレート
507 106,300円
▽ボックス 17,700円
▽セットストレート
62,000円
▽セットボックス
8,800円
▽ミニ下2ケタ
07 10,600円
【ナンバーズ4】
▽ストレート
8620 950,000円
▽ボックス 39,500円
▽セットストレート
494,700円
▽セットボックス
19,700円

1億円の宝くじ

みずほ銀元幹部を起訴

1億円詐取で地検
みずほ銀行に因連した架

空の投資話を持ち掛け、顧客から1億500万円をだまし取ったとして、東京地検は13日、同行の元幹部行員、及川雄容疑者(51)を詐欺罪で起訴した。事件を

巡っては、警視庁が及川被告のほかに男性会社員ら2人を詐欺容疑で逮捕したが、東京地検は同日、処分保留で釈放した。同地検は「捜査は継続する」としている。

ている。広島・長崎の両
祈念館が共同運営するウ
ェブサイト「平和情報ネ
ットワーク」(<http://www.global-peace.org.jp>)上でも視聴できる
ようにした。広島の祈念
館の担当者は「海外の人
が母国語で視聴できれ
ば、証言の『訴える力』

が増すはずだ」と期待す
る。

年は原爆投下への関心
も高まりやすい。この機
会に、言葉の壁を解消し
被爆者の声を世界に伝え
たい」と強調。「若者に
は高齢化する被爆者に代
わって、証言を発信する
役割を担ってほしい」と
活動の狙いを話してい
る。

NET-GTASは15
年度も新たに5人の証言
を翻訳する予定で、活動
への参加者も募集してい
る。

立ち上げに関わった京
都外大の長谷邦彦客員
研究員は「戦後70年の今

研究員は「戦後70年の今